

会報

1972

8月

(第3号)

財団 京都市文化観光資源保護財団
法人

京都市左京区岡崎最勝寺町13

京都会館内

(電) 京都(075) 761-0020



松ヶ崎題目踊

松ヶ崎題目踊

寺伝によれば鎌倉末期の徳治二年（一一〇七）のこの日、住職であつた美眼僧都が日像上人を寺に招いて説教を聴いたとき、全村民が信伏し、日蓮宗に改宗した。その際、実眼僧都が歓喜のあまり太鼓を打ち

“南無妙法蓮華経”と唱えると、列座の村民がこれにあわせて踊つたことが、題目踊りのはじまりであるといえられる。

踊りは“南無妙法蓮華経”的七字のお題目を男女の音頭取りによつてくり返しながら、円陣をつくった踊り手がウチワを上下に回転し、からだを屈伸しながら回るという素朴なものである。

踊りは毎年八月十五日午後八時から十六日は大文字五山送り火の一つ“妙法”的点火後（午後九時）から涌泉寺において行なわれる。

八月十五 花背松上げ（午後10時）
原地町15～16 松ヶ崎題目踊（15日午後8時）
16日午後9時）
涌泉寺

22	22	10	9月9	鳥相撲と重陽神事（午前10時）
時代祭（御所）	12時出発	8	十月1～4	上賀茂神社 吉祥院六斎念仏踊（午後8時）
鞍馬の火祭（松明）	午後7時	（第2日曜）	後1時）	北野天満宮 二十五菩薩練供
時	由岐神社	12	牛祭（午後7時）	養（午後1時） 泉涌寺即成院

△京の年中行事より

第六回役員会開催

○財團基金募金協力者に対する感謝状贈呈(六十八名)
○記念講演「文化財に対する世界の関心」
○講師 京都国立博物館長 塚本善隆氏

顧問 菅原義重

植村田午郎 永野 重雄 松下幸之助

(※は新任者) (敬称略)

六月十二日(月)午前十一時三十分より都ホテルにおいて
京都市文化観光資源保護財団第六回理事会・評議員会が開催
された。

今回の役員会においては、昭和四十六年度事業報告並びに
収支決算をはじめ、役員改選、募金状況報告及び、今後の募
金活動等について審議された。

昭和四十六年度事業報告

(1) 募金活動の推進

① 地元企業及び全国財界を中心とする募金活動の推進。

② 市内社寺協力体制の促進。

③ 印刷物による一般啓蒙宣伝の強化。

④ 報道機関による広報活動の充実。

⑤ 府、市、その他の文化財保護機関との連絡協調。

⑥ 文化観光資源保護思想の啓蒙普及

⑦ 財団会報の発刊。

⑧ ポスター、ビラなどによる啓発。

⑨ 文化財の公開(京都市と共催)。

⑩ 伝統行事、芸能功労者表彰(十一名)

⑪ 財団会報の発行。



十月十六日(土)

昭和四十六年度収支決算

△収入総額 四三、四五七、六一七円

○市基金繰入金 二八、八九五、六三五円

○補助金(市より) 一二、〇〇〇、〇〇〇円

○利息収入 二二六円

○総入金(特別会計より) 五一〇、二二六円

○継越金(前年度) 二八、九〇〇、五六八円

△支出総額 二五、一四五、〇〇〇円

○会議費 一、六九〇、五六八円

○事務局費 一二、〇〇〇、〇〇〇円

○事業費 三〇、〇三六、六八七円

△保護事業助成費(内) 三六一、一八八円

○総出金(特別会計積立金) 四二、六二七、六二二円

△収支差引 七八一、四三七円

六、八〇九、四九八円

△収支差引 八二九、九九五円

役員改選について

理事会において寄附行為第十六条により、任期(三年)満了に伴う役員の改選について審議されたが、全役員の再任が決定された。ただし、死亡された川端理事の後任については当分の間補充しないこと、団体等の代表者が交換されたことにともとづく、理事、評議員の交替及び一千万円以上の多額寄附者を評議員に委嘱することなどを満場一致で承認可決された。さらに、同日二時から開催の評議員会においても、佐伯理事長の再選及び理事、監事の選任同意について満場一致で承認可決された。

★ 七月豪雨で京都の文化財被害多し

募金状況の報告及び今後の募金活動について

烟専務理事から六月十日現在の募金状況は、申出金額が七億四千万円近くに達し、目標額十億円まであと、二億六千万円程を残すまでになったとの報告があり、ひきつづき今後の募金活動について審議され、募金のたちおくれている関東方面に重点をおき、一日も早く募金目標額を達成するよう各役員にご協力をお願いした。

さる7月、全国的に被害をもたらした集中豪雨で、京都では、清水寺廃寺跡の保存整備をすすめていたが、この四月、市内ではじめての本格的な史跡公園として完成した。

この史跡公園は、京都市が国庫補助を得て、総額五、八五四万円で土地買収したうえ、総工費一、三三〇万円で整備したもので、今後、市民のいこいと歴史教材の場として活用されることが期待されている。

尚、任期満了等により退任になつた上枝・片岡理事、石村・岡田・鮎川・川又・福田の各評議員にお礼を申上げると共に、先般ご逝去になつた川端理事のご冥福を祈ります。

墓地の問題は、世界至るところご同様で、大河に魚は、住まず、街頭には車が溢れ、よほど時間に余裕をもつてないないと、定刻に目的地に着けないこともしばしばある。自動車の洪水の中に、日本産の車の多いことに人驚いた。いずこも、文明の名のもとに、自然と人間がいいたげられていることに変りはない。ただそんなん中にも、古いものを守ろうとする努力があちらこちらで見られたことは、わずかな慰めであった。

京都市では、奈良時代前期(白鳳)の貴重な寺院跡である史跡、櫻原廢寺跡の保存整備をすすめていたが、この四月、市内ではじめての本格的な史跡公園として完成した。

この史跡公園は、京都市が国庫補助を得て、総額五、八五四万円で土地買収したうえ、総工費一、三三〇万円で整備したもので、今後、市民のいこいと歴史教材の場として活用されることが期待されている。

さる7月、全国的に被害をもたらした集中豪雨で、京都では、清水寺廃寺跡の保存整備をすすめていたが、この四月、市内ではじめての本格的な史跡公園として完成した。

このたび、この史跡公園は、京都市が国庫補助を得て、総額五、八五四万円で土地買収したうえ、総工費一、三三〇万円で整備したもので、今後、市民のいこいと歴史教材の場として活用されることが期待されている。

さる7月、全国的に被害をもたらした集中豪雨で、京都では、清水寺廃寺跡の保存整備をすすめていたが、この四月、市内ではじめての本格的な史跡公園として完成した。

</

